



シンガポールの風物詩が本格復活！

北陸銀行 国際部
シンガポール駐在員事務所
所長 上原 清志

1. はじめに

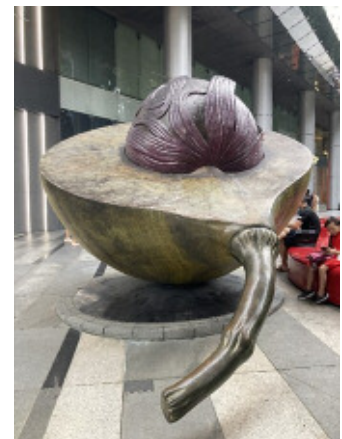
外気温が年中30度前後で四季がなく、時間の流れの中で季節感を感じることも殆どないシンガポールですが、イベントで季節を感じることができます。この時期、日本人観光客にも人気が高い目抜き通り「オーチャードロード」でのクリスマスイルミネーションがそれに当たります。パンデミック前は毎年大勢の人で賑わっていたクリスマスイベントが今年は3年ぶりに完全復活しました。

そこで今回は、常夏シンガポールのオーチャードロードやクリスマスイルミネーションについて少しご紹介したいと思います。

2. オーチャードロードの歴史

全長約2キロのオーチャードロードは今でこそ世界有数のショッピングエリアとして有名ですが、元々はナツメグの果樹園が一带に広がっていたエリアとされています（オーチャードロードにある有名ショッピングモール敷地に大きなナツメグの実の彫刻が置かれているのが唯一の手掛かり）。

1800年代半ばからイギリスの植民地になったシンガポールは土地開発が進み、オーチャードロードエリアの果樹園も徐々に姿を消しました。その後、郊外の富裕者層が立地条件に目を付けて1950年代からインフラ整備や商業地化が加速、1970年代に現在のオーチャードロードの原型が出来上がったようです。



IONオーチャードにあるナツメグの彫刻

都市国家シンガポールは、政府による綿密かつ計算された開発計画に従ってMRT(都市鉄道)の各駅に隣接した形で大型ショッピングモールなどの商業施設が立地しています。このような商業地域分散化に伴い人流も変化、現在のオーチャードロードエリアは地元住民がよく足を運ぶというよりも外国人観光客や週末のメイド(特にフィリピン出身)の集合場所あるいは休息場所として賑わっています。

3. クリスマスイルミネーションの2つの意義(煌びやかさと助け合い)

今回ご紹介するクリスマスイルミネーションは1984年から開催されており、オーチャードロードの前後を加えた約3キロ(タングリンモール前~ドゥービーゴートにあるプラザシンガプーラ前)に渡って非常に煌びやかな雰囲気生まれ変わります。毎年11月10日前後の土曜日から1月2日まで実施(2022年は11月12日~2023年1月2日)、毎日午後6時半~深夜0時まで点灯されます(週末が午前2時、クリスマスイブとニューイヤーイブは午前6時まで)。



煌びやかなイルミネーションアーチが幾重にも連なった道路がメインですが、数多くのクリスマスツリーや、家族や友人で写真撮影が楽しめるスポットが設置されています。このイベント目当てにシンガポールを訪れる観光客も多く、今年は渡航規制緩和に伴い開催概要や点灯時間も従来の形に戻ったこともあり、週末やクリスマスイブ、ニューイヤーイブには身動きが出来ないくらいの混雑になります。

このイルミネーションイベントが注目される理由は煌びやかさだけではなく。実はチャリティー活動も兼ねており、特別なサポートが必要な人々への寄付金を募るイベントとなっています。イルミネーション点灯式にはシンガポール大統領が司会を務め、国民へ寄付を募る役割も果たしています。

二つの側面を持ったこのイベントは、クリスマスイルミネーションを楽しむことと同時に社会的弱者をコミュニティ全体で支えていくというテーマを持っています。しかも、このイベントには日系某電機メーカーが30年以上毎年イルミネーション設置を手掛けるなど、国境を超えた各企業の寄付やサポートで支えられており、シンガポールでいかに愛されているイベントであることがよく分かります。

4. おわりに

今年もAR(拡張現実)を融合したプロジェクションマッピングが注目されています。マリナーベイサンズなどで行われる新年カウントダウン映像も映し出される予定であり、12月31日から1月1日にかけて過去最高の盛り上がりになると言われています。

パンデミック前まで中国人観光客が圧倒的に多かったシンガポールですが、今は欧米やインドネシアやベトナム、インドといった国々から



【ビル壁にプロジェクションマッピングが映し出される】

の観光客が目立ちます(残念ながら日本人観光客はまだ少なく、今後を期待)。イベント主催者であるオーチャードロード商工会(Orchard Road Business Association)もこのイベントがここ数年で落ち込んだ消費回復の起爆剤になることを狙っています。

また、昨今のエネルギー不足から節電モードに陥りがちですが、煌々としたクリスマスイルミネーションは人々の心を前向きにするには大変効果的です。特にここ数年の閉塞感漂う中で実施されていたクリスマスイルミネーションとは物理的規模や経済効果は当然ですが、心理的効果が全く違います。

2023年も政治経済その他不透明感が漂う状況が世界中で続きますが、シンガポールや日本国内外で行われるクリスマスや新年イベントを一つのきっかけにして、より良い一年になることを願うばかりです。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用いただきますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp